平成23年度　大分県高等学校総合体育大会　ハンドボール競技

会場　：　大分県立舞鶴高等学校　多目的競技場

男子　決　勝

雄城台	30	14	――	7	24	大分舞鶴
		16	――	17		

戦評

５番ポイントゲッター佐藤（友）をケガで欠く雄城台だが、序盤は堅守からの速攻による3連取でリードを掴む。対する舞鶴もGK岡本の好セーブと組織的なディフェンスから速攻を仕掛け一進一退のゲーム展開となった。両チーム共にGKの好セーブによりロースコアーの状態が続く中、舞鶴のオフェンスミスを雄城台が速攻し前半１９分で９－４とリードする。

舞鶴は、タイムを要求し戦術の修正を行いセットオフェンスで2点を加点する。しかし、雄城台GK佐藤（弘）が再三に渡るノーマークシュートをファインセーブし、逆に速攻へ展開を図った雄城台が7点リードで前半を折り返した。

後半は、両エースの点の取り合いでスタート！ 舞鶴は、９番山本のカットイン・ロングシュートで得点を重ねると、雄城台は7番楠元のミドルシュートで応戦し一歩も引かない打ち合いが展開される。しかし、前半の点差は縮まらず、時間は経過していく。後半25分、１９－２５の６点差と成った段階で舞鶴は、ディフェンスシステムをオールマンツーに変更しアグレッシブルに仕掛け追撃にかかろうとするが、一対一に勝る雄城台が逆に4連取とする。その間に舞鶴は退場者を出してしまい追撃の勢いをそがれてしまう。GKを中心とした守りと、多様な攻撃を見せた雄城台が4回目の優勝を飾った。

しかし、最後まであきらめずに自分達のハンドボールを見せ続け、全力でプレーした舞鶴の選手たちは素晴らしかった。

雄城台高校は、インターハイ・九州大会出場、舞鶴高校は、九州大会出場と成るが母校の看板を背負い、大分県代表として頑張ってもらいたい。

大分県ハンドボール協会　広報部